

角館の

お祭り

「角館のお祭り」が9月7日から9日の3日間にわたり行われ、町中が祭り一色につつまれました。

角館のお祭りは、地域の繁栄や商売繁盛、家族の無病息災などを祈願するもので、角館町岩瀬の神明社（9月7日、8日）と西勝楽町の薬師堂（9月8日、9日）の祭りが一緒になったものです。

歌舞伎人形や武者人形をのせ、きれいに飾った18台の曳山が7日に神明社へ参拝。8日は、佐竹北家当主へ上覧。薬師堂へは8日または9日に参拝に向かいます。曳

山は飾山囃子を奏で、艶やかな手踊りを披露しながら町内を曳き廻します。曳山同士が道でかちあうと、通行の優先権をめぐって交渉を繰り返す、決裂すると実力で押し通すため曳山同士が激しく激突する山ぶっつけがはじまります。曳山を曳く若者ばかりでなく、見物する人をも魅了する華麗で豪快な祭り絵巻が繰り広げられ、今年も明け方まで若者のかけ声とお囃子の音が響いていました。



「角館祭りのやま行事」が重要無形民俗文化財指定されて今年で20周年。これを記念した式典が8月21日グランデールガーデンで行われ、大勢の方がお祝いに訪れました。式典では、角館のお祭りへ様々な形で尽力されてきた、鈴木幸太郎さん、鈴木隆行さん、加藤ミヨさん、渡部昭二郎さん、藤原國雄さんの5人の方々へ、角館のお祭り保存会の高橋雄七会長から感謝状が贈られました。



元気通信

GENKI-TSUSHIN



角館のお祭りで、曳山運
行中途絶えることなく演奏
されるお囃子。曳山を動か
す重要な役割をお囃子は
担っています。

その囃子方の一つ「愁明
会」(田沢湖生保内)は、平
成5年から駅通り若者曳山
の囃子方として、角館のお
祭りに参加し今年で18年目
を迎えます。

会の立ち上げ時は6人し
かいませんでしたが、徐々
に、お祭り好き・お囃子好
きが集まり、現在は15人に
なりました。最年少は中学
1年生。伝統あるお囃子を



若いメンバーが伝統を
受け継いでいきます。

次の世代に伝えていきたい
とベテラン勢は話します。

8日に行われる「おやま
囃子コンクール」ではこれ
まで優秀賞を2回受賞して
います。

駅通り丁内の皆さんとは
お祭り期間以外にも親交が
あり、曳き手と囃子という
関係を越えた関係を築いて
います。角館のお祭りによっ
て結ばれた縁。これからも
大切にしていきたいです。



平成22年度 おやま囃子コンクール

◀囃子部門▶

- 最優秀賞 (角館のお祭り保存会長賞)
横町若者 角館山本組 代表 山本 善英
- 優秀賞 (角館町観光協会会長賞)
中央通り 奏雅扇舞会 代表 藤井 哲也
- 優秀賞 (仙北市商工会長賞)
岩瀬若者一同 祭喜会 代表 加藤 清貴

◀手踊り部門▶

- 最優秀賞 (角館のお祭り保存会長賞)
山根谷地町旭会若者 田口民謡会 代表 高橋 キヌ子
- 優秀賞 (角館町観光協会会長賞)
中央通り 奏雅扇舞会 代表 藤井 哲也
- 優秀賞 (仙北市商工会長賞)
本町通り 高橋キヌ子社中 代表 高橋 キヌ

